



・復活後第三主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十一編」

御力を表される主をあがめよ
力ある御業をたたえて、

我らは賛美の歌を歌う。

氣を落とさずに祈る

主イエスは弟子たちに「氣を落とさずに、絶えず祈りなさい」と語られました。これは弟子たちがキリストに従って生きる中、迫害や患難など、氣を落とすようなことに遭うことを、主が知っておられたゆえに語られた教えです。

主イエスのことばから右にも左にもそれず、まっすぐに従って生きる人は、この世にあつては、必ず困難、つまり苦しみ、悲しみに遭い、落胆するようなことに遭うのです。主イエスの教えとこの世の考えとはまるで違うからです。そして調和するものではないのです。

例えば、主は誰でも偉くなりたい人は自分を低くし、皆の奴隷にならなさい。先になりたい者は、後の者になりなさいと教えておられました。しかし、この世は他の人よりも上に立ちたがるのです。誰より偉くなりたいのです。そのため、この世にはいつも妬みがあります。自分よりも上に対して妬み、自分より下に対しては見下すのです。反対に自分が見下されることには耐えられません。先になりたいの後回しにされると、不平、不満、また怒りを抱くのです。怒りを抱くということは、相手を赦していないことです。

「反」 祈る者から従う者たちはキリストからの赦しを知っているゆえに、赦さない人はなく、主が自分のために命を捨ててくださったゆえに、この世にあつては低く、小さく、後の者になっても構わないのです。しかし、この世はそうではなく、小さな者になつていく生き方をつまらなしいと見るのです。鳩のように人に害を与えず、平和に過ごし、しかし、曲がったことには妥協せず、キリストに従う者たちは何の理由もなく憎まれ、妬まれ、悪口を受けることも不当な苦しみに遭わされることもあります。主は弟子たちがそのように生きる歩みを知っておられ、落胆せずにもあなたがあたの天の父に祈りなさいと教えてくださいます。

律法では、やもめや孤児が守られず、彼らが虐げられてはならない。彼らのために正しい裁きが行われなければならないと命じられています。主はそのような神の命令にも目もくれず、不当な苦しみに遭った「やもめ」をかわいそうとも思わない裁判官でさえ、「やもめ」がひっそりなしにやつてくるその訴えを聞き入ると話されました。ましてや天の父は選ばれた者たちのために速やかに「裁いてくださる」と教えておられるのです。ですから、落胆せずに祈りなさいと教えておられるのです。「しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか」とも語られました。

主はご自身の弟子たちをイスラエルの中でも最も弱い、力のない「やもめ」にたとえられました。「やもめ」は「裁判官」をお願いすることしかできないほど無力です。そこに私たちが学ぶべき「信仰」が見られるのです。不当な苦しみにあつても自分で相手に手を下さず、自分の手で、口で、心でも相手を裁かない。悪口、非難を受けても、一緒にいって言い合うようなことがあつてはならないのです。信仰者のなすべきことは無力な「やもめ」のように天の父にお願いすることしかありません。その方にすべてをお任せすることです。

主イエスも十字架の上で、周りの人たちから「ののしられてものしり返さず、苦しめられても人を憎まず、正しくお裁きになる方にお任せになった」のでした。むしろ十字架の苦しみの中で、ご自身を嘲る人たちが、神の裁きの手にかかることのほうがはるかに哀れなために、「父よ、彼らは自分たちが何をしているのか知らないのです。お赦しください」と祈られたのです。

私たちはこのキリストに従う者たちです。人に害を与えず、人を虐げず、唯々主イエスに従っていきましよう。良いことを行い、苦しみに遭う時、落胆せずに父の祈り、むしろ苦しみを与える者のために祈る、キリストの信仰を身につけていきたいと心から願います。

2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、
混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。
これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新しい翻訳

どうかわったのでしよう

65篇

新共同訳

一 沈黙してあなたに向かい、賛美をささげます。
シオンにいます神よ。

二 あなたに満願の献げ物をささげます。

三 祈りを聞いてくださる神よ

四 罪の数々がわたしを圧倒します。

背いたわたしを

あなたは贖ってください。

協会共同訳

一 シオンにいます神よ

二 あなたには沈黙も賛美。

三 あなたへの誓いが果たされますように。

四 祈りを聞いてくださる方よ

五 すべての肉なる者はあなたのもとに來ます。

六 数々の過ちが私を責めたてます。

七 私たちの背きを、あなたが覆ってください。

新改訳2017

一 神よ 御前には静けさがあり

二 シオンには賛美があります。

三 あなたに誓いが果たされますように。

四 祈りを聞かれる方よ

五 みもとにすべての肉なる者が参ります。

六 数々の咎が私を圧倒しています。

七 しかし私たちの背きを

あなたは赦してください。

《今日のお知らせ》

○今日の礼拝後には特別な予定はありません。

○今回の洗礼式と転入会式は七月三十日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月三十一日までに提出ください。どちらの願書も事務所にあります。

○本日、吉村和雄名誉牧師は聖書之友教会で説教奉仕をされます。

《事務所より》

今週の連休中は教会施設内に入ることができませんのでご注意ください。

《今後の予定》

○五月一日 附属幼稚園 休園

○五月七日 ハイデルベルクの会

○五月二日 定例役員会

○五月二八日 ペンテコステ礼拝(二回礼拝)

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌 306番

(試訳)

1. 今日までこの身を 守ってくださった私の主
 どうして明日から 捨てられることがあろうか
 変わらない愛をもつてすべてを治められる主が
 私を導いてくださる

2. ひたすら主の御旨に従っていけば
 罪の縄は解かれて悩みも消える
 閉ざされることのない門のむこうに
 命の泉が絶えず湧き出ている

3. 私の魂は、どうして恐れたじろぐのか
 心の暗雲は、素早く払おう
 雨も風も襲わない天の御国が
 私を待っている

4. この世にいる私の身には足かせがあるが
 心の向く先は果てしなく広い
 高みに昇って隅々まで見渡せば
 すべてが和らぐ

今日の聖書クイズ

(問) 主イエスの空の墓に最初に入った弟子は
 誰でしょう？

A ヨハネ
 B ペトロ
 C ラザロ
 D マタイ

(答) ヨハネによる福音書

20章1〜10節を御覧ください。



《次週の礼拝》

● 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21-127番 讃21-57番

説教 「光あれ」

聖書 創世記1章1〜2章3節

説教者 菊池美穂子 副牧師

● 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 147番 285番

説教 「ここで何をしているのか」

聖書 列王記上19章9〜14節

説教者 黄允湜 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番 461番
説教 「マグダラのマリアに」
聖書 ヨハネ20章11～18節(新約 P209)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「ああうれしわが身も」D.ワグ

○ 讃美歌22番

- 1.めさめよ、わがたま あさ日にともない
あしたのほめうた みまえにささげよ
- 2.むなくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
- 3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
- 4.かくるるものをも 主は知りたまえ
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
- 5.めさめよ、わがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○ 讃美歌461番

- 1.主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらず
※ くりかえし
わが主イエス、わが主イエス、わが主イエス
われをあいす
- 2.わが罪のため さかえをすてて
天よりくだり 十字架につけり ※
- 3.みくにの門を ひらきてわれを
招きたまえり いさみて昇らん ※
- 4.わが君イエスよ われをきよめて
よきはたらきを なさしめたまえ ※

アーメン

聖餐曲「我ら主イエスキリストに感謝せん」J.S.バッハ

後奏曲「ものみなこぞりてみ名をたたえよ」L.スミス

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 152番 306番
説教 「もう十分です」
聖書 列王記上19章1～8節(旧約 P565)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師・菊池 美穂子 副牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「主は死につながれ」G.バーン

○ 讃美歌152番

○ 讃美歌306番

聖餐曲「我ら主イエスキリストに感謝せん」J.S.バッハ

後奏曲「ものみなこぞりてみ名をたたえよ」L.スミス

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。